



第6回日本救護救急学会学術集会

『救急艇の社会実装に向けたモバイルホスピタルインターナショナルの取り組みと諸機関への調整』

砂田向壺, 有賀徹
公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル
発表日: 10月23日/2021年

はじめに 公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル主要トピック1議連活動

令和3年6月11日
参議院本会議可決



参議院

令和3年5月27日
衆議院災害対策特別委員会可決



災害時における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関する法律案 概要

目的（第1条）

而に目された我が国においては災害が発生した時又は感染症が発生し若しくはまん延し、若しくはそのおそれがある時（以下「災害時等」という。）における医療を確保する上で船舶を活用した医療の提供が効果的であることに鑑み、災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備を推進する。

基本理念（第2条）

災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進は、災害が発生し、又は感染症が発生し若しくはまん延し、若しくはそのおそれがある地域において必要とされる医療を船舶を活用して的確かつ迅速に提供することにより、当該地域にある医療施設の機能を補完し、国民の生命及び身体を災害又は感染症から保護することに資することを旨として、行われなければならない。

国の責務（第3条）

国は、基本理念にのっとり、災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備を推進する責務を有する。

基本方針（第4条）

- ① 災害時等における船舶を活用して提供される医療と陸上の医療施設において提供される医療との適切な役割分担及び相互の連携協力の確保
- ② 災害が発生した地域等において必要とされる医療の的確かつ迅速な提供が可能となるよう、災害時等における医療の提供の用に主として供するための船舶の保有（独立行政法人その他の国以外の者により保有することを含む。）
- ③ 災害時等における船舶を活用した医療の提供に必要な官民の医療関係者、船舶職員その他の人員の確保
- ④ 災害時等における船舶を活用した医療の提供のための教育訓練等を実施することによる人材の育成
- ⑤ 災害時等における船舶を活用した医療の提供に必要な医薬品、医療機器その他の物資の確保
- ⑥ 災害時等以外において、離島等における巡回診療、国際緊急援助活動等に②の船舶を効果的に活用
- ⑦ 民間の資金、経営能力及び技術的能力の活用
- ⑧ その他

必要な措置（第5条）

政府は、基本方針に基づき、災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に必要な措置を講ずる。

必要となる法制上の措置については、この法律の施行後一年以内を目途として講じなければならない。

整備推進計画（第6条）

政府は、政府が災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関し講ずべき措置について必要な整備推進計画を策定しなければならない。

内閣総理大臣は、整備推進計画の案につき閣議の決定を求めなければならない。

政府は、整備推進計画を策定したときは、遅滞なく、国会に報告するとともに、インターネットの利用その他適切な方法により公表しなければならない。

本部（第7条—第15条）

災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進を総合的かつ集中的に行うため、内閣に、全ての国務大臣によって構成される船舶活用医療推進本部及びその事務局を設置（本部長は、内閣総理大臣）

施行期日（附則第1項）

公布の日から起算して三年を超えない範囲内において政令で定める日

検討（附則第2項）

本部について、施行後五年を目途に検討し、その結果に基づいて必要な措置を講ずる。

国民に本物の病院船を見せよう!!!
私たちは世界最大の米海軍病院船マーシー寄港
を2018年6月16日に実現しました

Hospital Ship 11 USNS Mercy

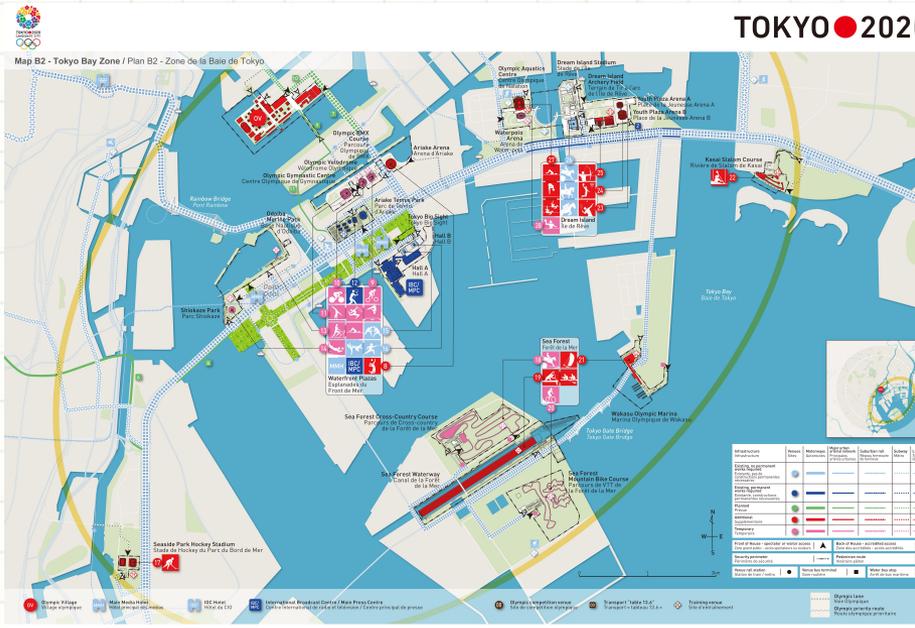


日本郵便の記念切手になったMercy

2018年6月東京寄港記念

概要：諸機関への調整事例

- 救急艇(小型艇)だけでは運航できない
- 新しい環境整備へのトライ
- 民間の協力者・賛同者へのアプローチ



TOKYO2020救急艇社会実装活動エリア

東京海上保安部から東京ベイエリア競技会場区域での活動に許可される特別フラッグ贈呈式/杏林大学山口教授

諸機関調整事例

- ・(公社)モバイル・ホスピタル・インターナショナル(MHI、理事長:砂田向壹氏)は、オリ・パラ時の昭和大学江東豊洲病院への海上交通ルートによる救急救命輸送を計画し、救命艇を確保したが、停泊場所の確保が課題であった。
- ・MHIは江東区が管理する豊洲の防災船着場の利用を希望していたが、江東区によると、オリ・パラ期間中は警視庁・海保が使用予定のため、都は代替案として辰巳地区の棧橋利用を提案し、MHIも承諾。MHIが希望する9月までの係留を許可。江東区の協力もあり、救急搬送時には、江東区が管理する豊洲の防災船着場が利用可能となった。
- ・5月26日(水)に救命艇による同病院への患者搬送の公開訓練が実施された。



救命艇シーレイ245モデル



- ・定員:10名
- ・サイズ:25ft
- ・トン数:2.4t

救急艇(小型艇)だけでは運航できない

国会議員連盟(額賀福志郎)	国/海上保安庁/港湾局	2018年6月～2020年12月
東京都議会(公明党会派)	港湾局棧橋貸与/東京消防庁協定	2019年11月～2021年9月
東京都港湾局	オリンピック競技会場棧橋利用許可	2019年11月～2021年9月
東京都総務局	オリンピック会場エリア救急艇活動広報	2020年11月～2021年9月
江東区土木部	棧橋利用許可/公園事務所	2019年11月～2021年9月
江東区議会	棧橋利用許可/公園事務所	2018年06月～2021年9月
東京海上保安部	オリンピック会場エリア立入禁止区院内救急艇活動許可	2020年10月～2021年9月
夢の島マリーナ	救急艇メンテナンス燃料補給	2021年05月～2021年9月
昭和大学江東豊洲病院	急患搬送受入/医師・救命士休憩室提供/器材保管協力	2018年06月～2021年9月
救急艇社会実装協議会	医師・救命士救急艇訓練メニュー開発/ローテーション	2020年04月～2021年9月
民間賛同・広報戦略		
ユニクロ	ユニフォーム提供協定	2020年11月～2021年9月
UNIQLOメディア戦略	公開訓練参加TV含むメディア26社/露出記録制作	2021年03月～2021年6月

東京海上保安部

Mission coordinator



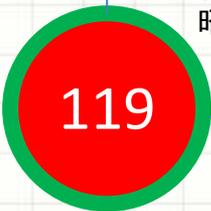
船長資格者
船舶操縦者



Mission Commander
有賀 徹

医師統括責任者: 横田裕行教授
救命士統括責任者: 田中秀治教授

帝京大学医学部付属病院 坂本 哲也 教授
日本医科大学医学部 横田裕行教授
国士舘大学大学院救急システム研究科研究科長/田中秀治教授
帝京大学医学部/三宅康史教授
日本医科大学医学部/横堀将司教授
杏林大学医学部/山口芳裕教授
昭和大学江東豊洲病院/弘重寿一教授



東京消防庁

江東区



昭江病

H

実施体制概念イメージ図

救急艇社会実装協議会

TOKYO 2020



医師

Medical officer

救急
救命
士

大学
救急



東京都港湾局貸与救急艇専用棧橋

昭和大学江東豊洲病院



東電堀の現状

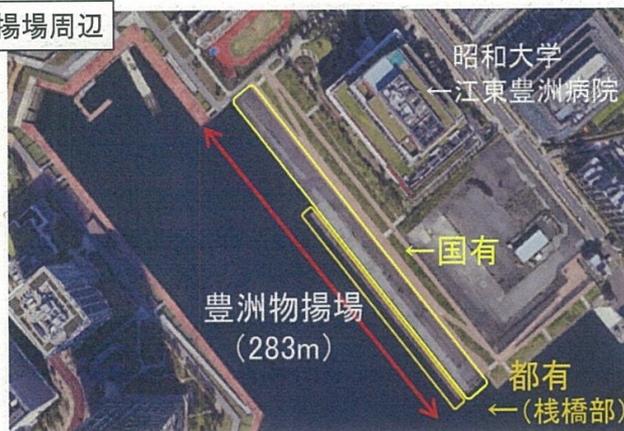
新設の可中橋
江東区土木部建設課提供

江東区提供救急艇社会実装活動棧橋

新しい環境整備へのトライ～豊洲物揚場の再開発構想について

- ・MHIは都に対し、豊洲物揚場の再開発について意見を聴く場を要望していた。
- ・他方、物揚場及びその周辺の再開発については、都・江東区・民間を含め、基本的なコンセンサスを図っていく段階。
- ・MHIの意見を聴くため、5月28日(金)に、MHI、都港湾局、関東地方整備局の3者で意見交換を開催予定。

物揚場周辺



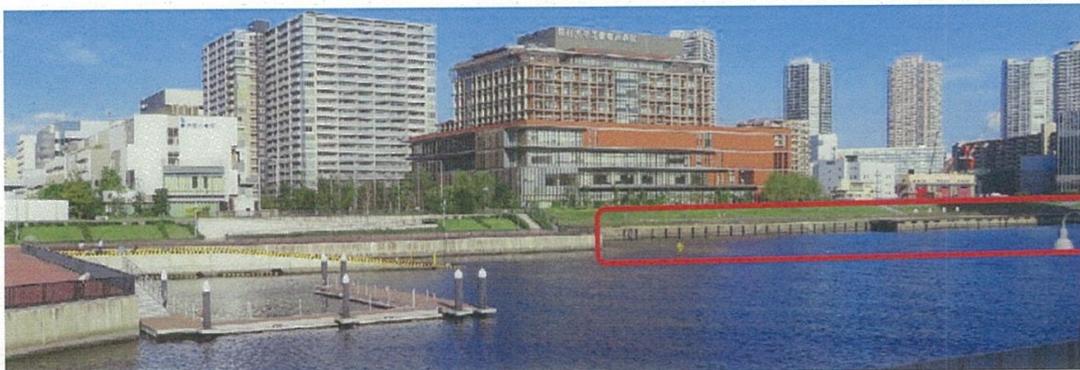
港湾計画図



物揚場の現状:

0係船柱、防舷材、車止め、はしご等の劣化が著しく、係留のためには補修が必要。

0このため、ふ頭用地背後にフェンスを設置し「係留禁止」としており、現在は不使用。



民間の協力者・賛同者へのアプローチ(露出記録)

公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル 救急艇の披露記者会見および搬送訓練

取材申請

出席予定媒体リスト

2021/05/24

【TV】	御社名	媒体名	部署名	御芳名	人数	ムービー	スチール	
1	NHK	ニュース	首都圏局	岡部咲		3	1	0
2	日本テレビ	NNNニュース他	報道局社会部	佐々木恵美		3	1	0
3	TBSテレビ	Nスタ、NEWS23他	報道局社会部	原田真衣		3	1	0
4	テレビ朝日	ニュース	社会部	岩下耀司		3	1	0
5	テレビ東京	テレビ東京	報道局	吉田知可		3	1	0
6	TOKYO MX	news TOKYO FLAG	報道部	杉本俊太		2	1	0
7	共同通信社	47news他	映像音声部	宮崎真鈴		2	1	0
8	時事通信社	時事ドットコム他	映像センター写真部	桐明靖之		2	1	0
				合計		21	8	0

【通信社】	御社名	媒体名	部署名	御芳名	人数	ムービー	スチール	
1	共同通信社	共同通信	社会部	伊藤陸		2	0	1
2	時事通信社	時事通信	社会部	中川華凜		2	0	1
				合計		4	0	2

【新聞】	御社名	媒体名	部署名	御芳名	人数	ムービー	スチール	
1	朝日新聞社	朝日新聞	編集局	永田稔		1	0	1
2	毎日新聞社	毎日新聞	写真映像報道センター	北山夏帆		1	0	1
3	読売新聞社	読売新聞	社会部	佐藤果林		1	0	1
4	日刊現代	日刊ゲンダイ	社会文化編集部	加藤広栄		1	0	0
5	ダイセン	織維ニュース	編集グループ	市川重人		1	0	1
6	織研新聞社	織研新聞	編集部	柏木均之		1	0	1
7	日刊自動車新聞社	日刊自動車新聞		赤石達真		2	0	1
8	日本海事新聞社	日本海事新聞	メディア事業局編集部	浅野一步		1	0	1
9	病院新聞社	病院新聞	編集部	西尾有香子		1	0	2
				合計		10	0	9

【雑誌】	No.	御社名	媒体名	部署名	御芳名	人数	ムービー	スチール
	1	企業開発センター	月刊自動車管理		阿部勝己		1	0
					合計		1	0

【WEB】	No.	御社名	媒体名	部署名	御芳名	人数	ムービー	スチール
	1	FUNECO	FUNECO	代表	松信 麟太郎		1	0
	2	医療タイムズ社	web医療タイムズ	東京編集部	田川文二郎		1	0
	3	メディアヴァーグ	乗りものニュース	編集部	柘植優介		1	0
	4	フリーランス	未定	フリーランス	中沢真也		1	0
					合計		4	0

【その他】	No.	御社名	媒体名	部署名	御芳名	人数	ムービー	スチール
	1	日本交通科学学会	—	理事	吉村俊哉		1	1
					合計		1	1

民間の協力者・賛同者へのアプローチ(広報事例)

公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル救命艇公開訓練

(2021年5月26日実施)

【訓練概要】

- ・消防からの要請に基づき、救命艇が出港し、熱中症患者を乗船させて寄港。
- ・帰港後、熱中症患者を車いすに乗せて、昭和大学江東豊洲病院へ搬送。



多羅尾東京都副知事



参加メディア



山崎江東区長



東京消防庁



患者を救命艇に乗せて帰港



患者を車いすで病院に搬送

民間の協力者・賛同者へのアプローチ(ユニホーム提供事例)

【株式会社ファーストリテイリング提供 スタッフユニフォーム概要】



着用人数: 100名
(ボランティア医師を中心とする
医療関係者、及び救急艇の乗組員)



ドライEX ショートパンツ (141着)



ユニクロドライEX ポロシャツ (141着)



ユニクロ ポケットダブルUVカットパーカ
(130着)



ユニクロ UVカットツイルキャップ
(101個)